

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 7月5日放送分 空前のペットブームに注目！ ～癒しを生み出す動物霊園～

7月5日放送分 空前のペットブームに注目！ ～癒しを生み出す動物霊園～

7月5日(TX・TVO・TSC)

6日(TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

7日(BSJ)

静岡県の企業組合動物の森(出資金2,000万円、組合員9名)は、産業廃棄物処理業者、焼却設備業者、動物病院勤務者等が集まって設立したペット霊園を経営する企業組合。ペットを失うことで強い精神的痛手を持つ人々が増加するなど、「家族の一員」ととしてのペットに、心をこめた供養が求められている。その声に応じて、総合的にペットを供養するペット霊園を開園した当組合の顧客の心情を思いやった活動を紹介する。

空前のペットブームに注目！

～癒しを生み出す動物霊園～

[視聴覚教材No. TV15-14](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



ワンちゃんを抱いて志垣さん登場。こんなかわいいペットたちも「生」ある生き物、「死」という宿命が…。

本日訪ねるのは、きめ細やかなサービスでペットの供養を行っている静岡市の動物霊園。「企業組合動物の森」が運営している。





「ペットも家族の一員というお気持ちの方が多いのではないかと思います。」と話すのは総務担当の戸井さん。霊園ではペットの葬儀から火葬、納骨、法要等の一切の供養を執り行っている。

POINT: ペットを家族の一員と位置づけ、葬儀・供養を執り行う



お骨は合同葬の場合、合同慰霊碑に祀られ、個別葬の場合は、骨壺に入れて持ち帰るか、納骨堂に室内霊座するシステムとなっている。



動物は亡くなると、法律では廃棄物としてゴミ扱いされてしまう。長年、廃棄物処理を請け負う会社を運営し、亡くなったペットの処理業務にも携わり、ペットの供養がしっかりとできる動物霊園の必要性を感じていた森理事長が発起人となり「企業組合動物の森」を設立した。

焼却処理業者や動物病院勤務、寺院関係者等の経験者が企業組合という形で各々のノウハウを生かし、運営している。僧侶の吉岡さんも組合員のひとり。

POINT: 関連業者により企業組合を結成し、各々のノウハウを生かす





企業組合の形で事業を起こすことにより、資金面でもメリットがあるとアドバイスしたのが深井さん。組合が利用できる高度化融資を勧めた。

POINT: 企業組合という業態をとることで高度化融資を利用することができる



営業では動物病院を回る。しかし、具合の悪いペットがないかを尋ねたりはしないという。



霊園利用者のペットの思い出や経験談を掲載した機関誌「『どうぶつの森だより』」。動物病院やペットショップに配布し、生前から飼い主との関係を築く。

「『どうぶつの森だより』を読むことで苦しんでいるのが自分だけでないという気持ちを持っていただきたい。霊園をそうした方たちの新しい交流の場としていきたい。」と増田副理事長は語った。

POINT: ペット愛好者の心を掴むことによって信頼を獲得し、顧客拡大を図る



[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN